

『歴史地理教育』バックナンバー

御注文は、一般社団法人歴史教育者協議会事務局まで、FAX かメールでお願いします(送料は別途、代金は後払い)。在庫品に限りがありますので、品切れの場合は、ご容赦下さい。

●戦争遺跡・戦争の記憶・体験などに関連した特集号(在庫品)と主な内容

四七五号(一九九一年八月) 定価六〇〇円(在庫7冊)

特集 戦争遺跡の掘りおこし

創作劇「ぼくらの町にも戦争があった」村瀬紀生／遭難した微用工の悲劇を追って―生徒とつくった劇―鎮魂の海峡―岡村俊弘／高校生が切りひらいた国際運帯の道―亀島山地下工場から朝鮮人遺骨返還まで 花房英利／飯田・下伊那の戦争遺跡―長野県歴教協下伊那支部／地域の掘りおこし運動に学ぶもの―山口謙次

六五七号(二〇〇三年八月) 定価六八〇円(在庫17冊)

特集 どう伝える 戦争の記憶

インタビューⅡ元特攻隊員の語る戦争体験 信太正道(聞き手・石出法太・村松邦崇)／実践(高校) 元七三一部隊員に聞く―戦争体験の聞き取り 野口政和／戦争遺跡保存運動と戦争の記憶 大日方悦夫／戦争の記憶をめぐる争い―前進のための批判検討 菊地宏義／実践(小六) ごめんなさい、ベトナム 金永文

五〇八号(一九九三年一〇月) 定価六〇〇円(在庫4冊)

特集 戦争と青春―学徒出陣五〇年

日本の教育と「学徒出陣」 松島榮一／戦列の末端に加わって―学徒出陣記 蛭川寿恵／ゲートルもまかず銃も持たず 川寄兼孝／瑣末なことの意味―戦没学生の遺書を読む 平野英雄／少年は馬のいななきを忘れない 根岸泉／「土科連」の記 東幸一郎／女子勤労挺身隊研究の現状と課題 滝沢民夫

七三三号(二〇〇八年八月) 定価六八〇円(在庫20冊)

特集 戦争と特攻隊

戦争と特攻隊―いま、問われているもの 吉田裕／描かれた特攻と事実のあいだ 山田朗／朝鮮人特攻隊員をどう考えるか 妻始美・野木香里／実践(中学歴史) 鹿児島における「特攻」の授業 山元研二／【小特集Ⅱ】「慰安婦」を学ぶ若者「慰安婦」を学ぶ女子大生に「慰安婦」を学ぶ 福田秀志 他

五二二号(一九九四年一〇月) 定価六六〇円(在庫10冊)

特集 戦争と子ども―学童疎開五〇年

学童疎開の本質は何か―本土決戦体制下の「皇国民錬成」教育政策 伊ヶ崎暁生／部活動における学童集団疎開調査 一条三子／セピア色の風景―疎開の思想 石井雅大／実践(小六) 学童疎開 浦沢朱実／集団疎開の引率をして 上川淳／聞き書きⅡ学童集団疎開のいきさつ 金子喜一郎(聞き手・金子真)／学童疎開体験記Ⅱ灰色の日々をすこして 佐藤純子 他

七四八号(二〇〇九年八月) 定価六八〇円(在庫20冊)

特集 戦場の実相―兵士の死と生

なぜ、いま、「戦場」を問題にするのか 吉田裕／兵士の「戦場体験」がもたらすもの―当事者性の発見 今野日出晴／傷痕軍人と「しょうけい館」 東海林次男／戦場体験と歴史教育―歴教協の研究・実践を中心に 古谷博／近藤一さんに学ぶ―二つの戦場での加害体験証言 宮城道良